

令和3年度
日章学園
鹿児島育英館中学校
入学試験問題

国語

(時間45分)

(注意)

- 1 「始め」の合図があるまで、このページ以外の所を見てはいけません。
- 2 問題は7ページあります。解答用紙は1枚です。
- 3 「始め」の合図があったら、まず解答用紙に受験番号、小学校名と氏名を記入しなさい。
- 4 答えは、必ず解答用紙に記入しなさい。
- 5 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげなさい。問題内容や答案作成上の質問は認めません。
- 6 「やめ」の合図があったら、すぐ筆記用具を置き、解答用紙だけをうら返しにして、机の上に置きなさい。

一

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

日本のむかし話に、「わらしべ長者」というのがある。どこにも勤め口もない、まごまごすれば餓死^が寸前^しという貧しい男が、観音さまのおつげによって、わらしべ一つを拾って、そのワラに、顔のまわりを飛んでいたアブをむすびつけて歩いていった。と、立派な牛車に乗っていた女の子が、そのアブをほしがって、柑子^{こし}三個と交換する。次に、のどのかわいている旅人と出会い、柑子と布三枚と交換をする。こうして次々と交換して行くうちに、大金持となって、ついには名主になるという話である。

「三年寝太郎」という話も、これに似た話である。

なまけ者で、なまけ者で、村中でも、つまはじきになるような、なんとも、仕方のない男である。この男が、ほんのちょっとしたキカイ^③から、素晴らしい運命を切りひらく話である。……………

こういうむかし話を見て、こういう話を、子どもにしてやるのは、「怠け者でもいいではないか」という心を植えつけて、「非教育的だ」という批判をする人がいる。これは、このむかし話の真意を理解しない批判である。……………

古い時代には、神々が、この宇宙をただよい歩いていた。その神と、出会ったものは、どのような弱者であろうと、落ちこぼれであろうと、ゼツダイ^④な力を与えられる。……………

神々は、宇宙を、さまよい歩いているので、いつ、誰が、その神々と出会うかも知れない。神々に出会う可能性は、誰にでもあるのである。……………

古い時代の貧しさは、今日と違って勤め口も少ない。田畑を持つ者も、食うや食わずの者が多かったようだ。庶民^{しよみん}たちは、貧しさの底にうめていたようである。

こういう人にとって、ゼツダイな力を持つ神に出会う可能性を、誰もみな持っているということは、苦しみから抜け出す希望があるということである。

このことは、古い時代の人々にとっては、救いであったにちがいない。私は、出会いということは、主要なことだと思っ

ている。^⑤ ゲンダイにおいても、出会いということは、人生に大きな影響をあたえるものである。特に感動との出会いは、その人間の運命にかかわるほど重要な出会いである。感動は、心の中の大きな地震と似ていて、心の底からゆ

り動かし、感動の方向に人間の心をかえていく。それと同時に、心の奥に眠っている、さまざまな才能の目を覚まさせる。

感動は、古い時代の人々の考えた、さまよえる神と同じように、運命の扉を大きく開く可能性を持つものである。

何か、大きな仕事をした人、何か大きな悟りを開いた人の多くは、大きな感動を経験した人たちである。

⁽⁴⁾ そういう感動が存在し、誰でも、そういう感動と出会う可能性があるということは、私はまた、ゲンダイ人にとって、一つの救いであるような気がするのである。

(椋鳩十「タヤけ色のさようなら」より。設問の都合上、表記の一部を変更)

問一 — 線部①⑤の漢字は平仮名に、カタカナは漢字に直さない。

問二 — 線部①「このむかし話の真意」とあるが、「わらしべ長者」と「三年寝太郎」の話が、読者に伝えたい「真意」はどういうことだと考えられますか。本文中から十九字で抜き出さない。

問三 — 線部②「こういう人」がさすものを本文中から四字で抜き出さない。

問四 — 線部③「特に感動との出会いは、その人間の運命にかかわるほど重要な出会いである。」とあるが、筆者は「感動」をどういうものだと考えていますか。本文中から十八字で抜き出さない。

問五 — 線部④「そういう感動が存在し、誰でも、そういう感動と出会う可能性がある。」とあるが筆者が考える「感動」として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 神々に出会い幸運をもらう「感動」

イ 多くの人々を幸せにする「感動」

ウ ささまざまな才能を目覚めさせる「感動」

エ 古い時代の人々にとっての「感動」

問六 次の文章が入る箇所として最も適切なものを本文中の **A** から **D** から選り記号で答えなさい。

おかし話の中には、何とも始末に困る者、世の中から、落ちこぼれたような男が、目を見張るような大きな力を発揮したり出世したりする話がよく出てくる。

問七 この話にタイトルをつけるとしたらどういふものがふさわしいですか。最も適切なものを次から選り、記号で答えなさい。

- ア おかし話から学ぶ
- イ 貧しさを救う神々
- ウ 苦しみから抜け出す希望
- エ 感動との出会い

一一

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

小さな町で兄弟のように育った僕、正隆、瑞貴、海大の4人は何をすることもいつも一緒だった。小学4年生の夏、川に捨てられていた子犬を見つけた僕たちは、当時のヒーローから名前をもらい「ライダー」と名づけた。ライダーは僕の家なやの納屋の2階で飼われることとなり、そこは僕たち4人とライダーの「秘密基地」となった。学校が終わるといつも「秘密基地」に集まり、日が暮れるまでライダーと遊び、同じ時間を過ごした4人もいつの間にか中学生となっていた。

中学生になっても、相変わらず僕たちは同じような毎日①を過ごしていた。

中学校は小学校のとなり。通学路も同じだった。だけど、そんな僕たちの毎日①にヘンカがおとずれたのは、中学3年生の夏だった。受験が僕たちの毎日を変えた。

秘密基地に集まる時間はほとんどなくなっていた。たまに集まってもすぐにみんなは帰ってしまう。ライダーはそれでも毎日みんなを

待っていた。

階段の下で僕が見上げると、ライダーはシッポを大きく振って出迎えてくれた。⁽¹⁾

僕はそんなライダーの健気さに胸が痛くなるほどだった。

僕たち4人は結局、みんな別々の高校に進学した。

もう、秘密基地の存在はなくなったも同然だった。⁽²⁾誰も訪れることのない場所。ライダーですら、そこにいることもなくなった。母屋の玄関で横になってばかりのライダー。忘れ去られたように、ひとりポツンと横になっていた。

僕も、ライダーという時間はなくなっていた。帰る時間も遅くなったり、休みの日もバスに乗って、となりの町で友だちとの時間を楽しんでいた。

高校3年生の夏。ライダーの姿が見えなくなった。

いつも「X」で横になっているはずのライダーがいない。

母親がずっと心配していたけど、僕はすぐに帰ってくると思っていた。だけど夜になっても帰ってこないライダー。さすがにシンパイになった僕は、ライダーを探しに出かけた。

ひとりどこにいったのだろう？正隆の家、瑞貴の家、海大の家に行った。

久しぶりに集まった3人は「いっしょに探すよ」と言ってくれ、みんなで手分けしてライダーを探した。裏山の竹林や、川にも行ったけど、ライダーはどこにもいない。

「ライダー！」

大声で呼んでみても、ライダーのヘンジはなかった。⁽³⁾僕たちは「まさかな……」と思いながら、秘密基地だった納屋の2階へ上った。ここにいるはずはない——もう、とうの昔に思い出の場所になってしまったのだから。

「ライダー……」

正隆が小さく呼んでみた。すると納屋のすみのワラの山が、かすかに音を立てた。

懐中電灯の灯りを向けると、そこにライダーが横たわっていた。^③

「ライダー……か？」

ライダーは臨終を迎えるところだった。顔はおだやかだったけど、「Y」というのがひと目でわかった。誰よりも早く海大がライダーを抱きかかえた。^④ 瑞貴はもう泣き顔だった。

「ライダー、どうした……」

正隆が鳴き声押し殺しながら声をかけた。

ライダーは「クーン」と小さく鳴いて、シッポを4回、弱々しくふった。

さよならのあいさつだった。ライダーが最期の場所にこの納屋を選び、4人をもう一度ここに集めたことが、僕たちの心をしめつけた。僕たちは、秘密基地の裏にライダーを埋葬した。^⑤ 長い時間、僕たちはその場所にいた。4人はひとことも話さず、ただライダーの近くに座ったきりだった。

「なあ。タイムカプセル、出してみないか？」

海大のひとことで、みんなでタイムカプセルを掘り出した。^⑤

それぞれが自分の入れたものを取り出して、思い出の品を見せあった。

おどろいたことに、それは、みんなライダーとの写真だった。ライダーを囲んで笑顔満面の僕たちがいる。ランニングシャツに短パン。泥だらけで汚いかっこうだけど、みんなの瞳は輝いていた。写真を見ながら、^④ 僕たちは泣きながら笑いあった。

ライダーは、僕らをつなぐ大切な仲間だった。言葉なんか通じなくても、僕たちをいちばんに理解してくれた友だちだった。僕たちは、あの頃と少しも変わっていなかった。

変わったと思っただけだった。大人になったんだ——そう思っただけだった。

天国に行ってしまったいまでも、ライダーはずっと僕たちのなかで生きている。

ライダー、ありがとう……。

(山口花「犬から聞いた素敵な話」より)

問一 — 線部①～⑤の漢字は平仮名に、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 — 線部①「ライダーはシッポを大きく振って出迎えてくれた。」とあるが、このライダーの様子と対照的（反対の、違いがはっきり分かる）なライダーの様子が書かれている部分を一文で抜き出し最初と最後の三字を抜き出しなさい。（句読点や記号は字数に数えません。）

問三 — 線部②「誰も訪れることのない場所。」とあるが、同じ場所のことを指している文を本文中から六字で抜き出しなさい。

問四 — 線部③「そこ」が指す場所を本文中から抜き出しなさい。

問五 — 線部④「僕たちは泣きながら笑いあった。」とあるが、この時の僕たちの心情を、「泣く」理由と「笑う」理由をはっきりと区別させて答えなさい。

問六 「X」と「Y」に当てはまるものとして最も適切なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

「X」 ア 階段 イ 納屋 ウ 母屋 エ 玄関

「Y」 ア 怒りがこみ上げている イ 不安そうだ ウ もう長くない エ 悲しみにくれている

問七 「自分を変えてくれた出会い」について、あとの条件にしたがって作文を書きなさい。

「条件」

- 題名や名前は書かないこと。
- 二段落構成、一二〇字以上一四〇字以内で書くこと。
- 第一段落には、出会いの内容を具体的に書くこと。第二段落には、その出会いによって自分がどのように変わったのかを書くこと。
- 原稿用紙の使い方にしたがって書くこと。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

「今度の日曜日(ア)にお父さんの弟のゆうじさん(イ)が家に来るから、お菓子を買ってきてくれない。」と、お母さんにおつかいを頼まれた。(ウ)私はうきうきした気持ちでお菓子屋さんに行った。(エ)(A)、私はとてもおいしそうなクッキー(カ)を買った。お菓子屋さんをでたところで急に雨が降り出した。(キ)(B)、風も強くなってきた。(ク)私はお菓子屋さんのきれいなふくろをぬらさないように注意しながら、急いで家まで帰った。(ケ)

問一 線部(ア)～(エ)の中から名詞(名前を表すもの)以外のものを一つ選び、記号で答えなさい。

問二 線部(a)～(d)の中から、動詞(動きを表すもの)以外のものを一つ選び、記号で答えなさい。

問三 線部(1)「お父さんの弟のゆうじさん」は「私」から見るとどのような関係ですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア いとこ イ はとこ ウ おい エ おじ オ おじいさん

問四 線部(2)「私はうきうきした気持ちでお菓子屋さんに行った。」について、次の問いに答えなさい。

- ① 主語を抜き出して答えなさい。
② 述語を抜き出して答えなさい。

問五 線部(3)「クッキーを」が修飾している言葉(説明している言葉)として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア わたしは イ とても ウ おいしそうな エ 買った

問六 (A) (B) に当てはまる接続語(つなぐ言葉)として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア だから イ しかし ウ さらに エ つまり オ そして